

## 明大ボクシング部・星野監督に聞く／BOX

2016.5.12 16:54

関東大学ボクシング2部リーグに所属する明大。1924年創部で、古くからボクシング部がある大学の一つである。OBにはヨネクラボクシングジム会長の米倉健司氏など、オリンピック経験者や全日本王者も過去には多数輩出している。同部を指揮する星野隆監督から、14日に開幕する第69回関東大学ボクシングリーグ戦について話を聞いた。(岩崎仁)

——今年の目標と部の状況は

星野隆監督「部員数が2部リーグで最も少ないと思われる。部員にはケガなく5戦を乗り切ってもらい、2部リーグの地位を確保してほしい」

——チームの雰囲気、普段の練習や日常生活は

「部員数が少ないので、良くまとまっている。合宿所制ではなく、勉強優先で平日の練習は午後6時45分から20ラウンド程度行っており、練習後、皆でロードワーク。練習が終わるのは午後10時過ぎになる。2部校全てがライバルだと思っている」

「3年生の3人、フライ級・内野滉史(東福岡)、ライト級・永山純礼(いわき秀英)、ライトウェルター級・米澤直人(奈良朱雀)に部を引っ張ってもらっている1部リーグ校にもスパーリングの出稽古に行っており、部員は『自分たちがやらなければならない』という意識がある」

「学生には自主性を重んじ、社会に出ても大事なことである、『嘘をつかない』『約束は守る』の2点をボクシングのワン・ツーマンのように伝えている」

——高校生のスカウトや部員の出身地、コーチの体制について

「地方大会、全国大会を見て、学校の先生などからも話を聞き、明治大学のために一生懸命頑張ってくれる学生をスカウトしている。コーチ陣は4名体制で、学校への提出物等の担当、部員の勉強担当、ボクシングの指導担当、スカウト担当と役割を分担している」

——学生時代にボクシングに取り組む学生に対して

「文武両道で、社会に出ても通用するための学生生活にしてほしい」

——監督にとっての関東大学ボクシングリーグ戦とは

「自分のことを振り返ると、母校のために一生懸命やっていた。漠然と『ボクシング部にいました』ということではなく、社会に出ても通用するようなことを勉強、ボクシングを通じて学んでほしい」


明治大学ボクシング部

1924年創部。1部リーグ優勝3回。OBにはヨネクラボクシングジム会長・米倉健司氏などがいる

星野隆監督

1939年4月12日生まれ、本郷高校(東京都)出身。元全日本フェザー級チャンピオン

---

 Copyright (C) 2016 SANKEI DIGITAL INC. All rights reserved.